

校報

第五百一號

昭和十四年七月一日

東京女子高等師範學校

叙任及辭令

依願解雇

東京女子高等師範學校雇三宅一喜

發二周年記念日ニ付當日ハ正午ヨリ各自其ノ場ニ於テ一分間國難打開戰歿將兵英靈ノ追悼並ニ出征將兵ノ武運長久祈願ノ默禱ヲ行フ
●聖旨奉答具體案 青少年學徒ニ賜ハリタル 勅語ノ聖旨奉體ノ實踐の具體案ニ就キ左記ノ通り決定セラレタリ

附屬高等女學校勤務ヲ嘱託ス

三宅一喜

雇ヲ命ス 附屬高等女學校勤務

柘植昇

佐々木等

東京女子高等師範學校助教授 竹之下休藏

東京女子高等師範學校助教諭 北原婦美子

東京女子高等師範學校講師 佐藤宏

水泳指導並監督ノ爲體育科生徒ヲ引率シ千葉縣興津町

ヘ出張ヲ命ス(以上六月三十日本校)

(六月二十九日文部大臣官房文書課長宛報告)

聖旨奉體ニ就キ

全校職員生徒兒童幼兒ヲシテ一層各自ノ本分ヲ守ラシメ修文練武コレ努メ校紀ヲ振肅シ皇國人タル資質練成ニ專念セシメ以テ聖旨ニ副ヒ奉ラントス

特ニ左記事項ニ留意セシム

一、質實剛健ナル校風ノ振勵

二、廉恥・禮節ヲ重ンズルノ氣風振作

本校生徒ニハ豫テ頤與シアル聖識令旨ナル冊子ニ勅語ヲ貼布セシメテ日夕奉誦セシメ附屬高等女學校同小學校ノ生徒兒童ニハ各自ノ修身教科書ニ貼布セシメ修身ノ時間其ノ他適當ナル時間ニ於テ訓諭ス

校報

支那事變二周年記念 來ル七月七日(金)支那事變勃

實踐事項

本校

六、團體的訓練ノ強化

團體精神ノ強調

1. 2.

團體行動訓練

3.

集團勤勞作業ノ充實

七、武道ノ獎勵

薙刀、弓道ヲ正課或ハ校友會ノ事業トシテ一層

獎勵ス

八、寒稽古

書道、茶道、唱歌及體操、薙刀、弓道等ノ寒稽古ヲ一層有効適切ナラシメ心身鍛練ニ力メシム

實踐事項

附屬高等女學校

1. 2.

實踐事項

一、奉讀

1. 每年五月二十二日 青少年學徒ニ賜ハリタル

勅語ノ奉讀式ヲ舉行ス

2.

每學期始業式ニ於テ 青少年學徒ニ賜ハリタル

勅語ヲ奉讀シ訓諭ヲナス

二、各學科ノ教授

ニ於テ機會アル毎ニ 聖旨ノ奉體

ヲ期ス

三、生徒讀書室ニ國體ニ關スル圖書、古今ノ忠臣、

孝子、貞女、節婦等ニ關スル圖書ヲ蒐集シテ生

1. 時間ノ嚴守

責任感ノ養成

2. 3. 服裝及容姿ノ整齊（特ニ標準服裝ノ改善ヲ行フ）

物資ノ節約

四、地理、歴史等の教授ニ於テ常ニ中外ノ情勢ヲ知
ラシメンコトニ力メ毎學期中外情勢ニ關スル講

演ヲ行フ

五、聖旨奉體ノ記憶ヲ新ナラシメンガ爲毎月二十二
日各自ノ實踐結果ヲ反省セシメ新ニ各自ノ實踐

事項ヲ定メシム

六、團體訓練ヲ強調シ久米川農場ニ於ケル勤勞更生
教育ノ徹底ニ力ム

實踐事項

附屬小學校

一、奉讀

1. 每年五月二十二日 青少年學徒ニ賜ハリタル
勅語ノ奉讀式ヲ舉行ス
2. 每學期始業式ニ於テ 青少年學徒ニ賜ハリタ
ル 勅語ヲ奉讀シ訓諭ヲナス

三、毎月二十二日朝會ニ於テ 青少年學徒ニ賜ハリ
タル 勅語ニ對スル兒童ノ注意ヲ喚起セシム

三、毎週水曜日全校體育ヲ行ヒ教練團體競技等ヲ課
シ質實剛健ノ氣風ヲ涵養セシム

四、課外ニ劍道、柔道、相撲、薙刀等ヲ課シ武ヲ練
リ質實剛健ノ氣風ヲ振勵スルコトニ力ム

附屬幼稚園

保育上左ノ諸點ニ一層留意ス

1. 國家感情ノ養成

2. 健康保育ノ工夫

3. 意志的訓練

4. 質實

5. 物資ノ節約

右ハ幼稚園内ニ於テ意ヲ注グト共ニ家庭ニ於テモ充
分ソノ越旨ヲ徹底セシメ特ニ時局認識ニ基ク生活ヲ
勵行セシム

○附屬高等女學校

●授業時間短縮 左ノ期間本科ノ授業時間ヲ短縮シ午
前八時十分始業、正午終業トス

自七月十日(月) 至七月二十日(木)
自九月一日(金) 至九月九日(土)

●第一學期末本科行事豫定左ノ如シ

七月十四日(金) 成績考査終了
七月十八日(火) 授業終了

七月十九日(水) 成績會議 集團勤勞作業準備
七月二十日(木) 終業式(徽音堂)

●久米川農園勤勞作業 來ル七月六日(木)全校兒童勤

勞作業教授ニ付久米川農園ニ行ク。但シ當日雨天ノ際
ハ中止シ平常ノ通リ授業ヲ行フ

●授業時間短縮來ル七月一日ヨリ同二十日マデ及九
月一日ヨリ同二十日マデ午前八時始業同十一時三十分
終業トス但シ七月中旬後ハ運動及作業ノ指導ヲナシ午
後二時下校トス

雜錄

●職員住所 新任職員住所左ノ如シ

牛込區市ヶ谷谷町六八花田方 雇 柏 植 昇